

LIBRARY

36歳の井上ひさしから 42歳の北杜夫氏へ宛てた手紙

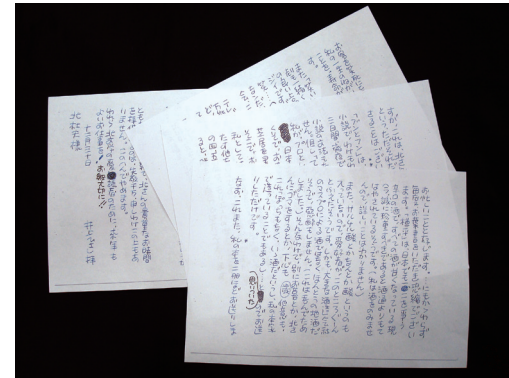
この手紙は、数年前にある古書店で売られていた井上ひさし著『ブンとブン』（一九七〇年朝日ソノラマ）の中から偶然にみつかったものです。手紙のあて先は作家の北杜夫氏、日付は一九六九（昭和四四）年二月三〇日とあります。

四枚に及ぶ手紙の内容は、北氏にお酒「樽平」を贈ったところ礼状をいただき恐縮していることや初めての小説『ブンとブン』と『てんぷくトリオのコント集』を献本させていただくことなど。特にコント集は玉石混交ながらプロとして必死に書いたものであり、自分は笑いで小説も演劇も書いていくつもりだという決意、アントニーシャ・チェホント（チェーホフ）の心境でいる……という内容です。

「お客を笑死に至らしめるのが、不

届千万にも私の「生のねがい」とあります。

直木賞を受賞する二年余り前の手紙に、既にこれからの自分の方向が定まったことを記しています。井上ひさしがそれを全うした人生だったことはいくらでもありません。



▲手紙写真（個人所有）

市原さんがいたから

東宝で青春映画の巨匠と言われた恩地日出夫監督が独立して様々な名作を作った後、自ら遺作と称して取り組んだ映画『蕨野行』の撮影地は迷走した末に山形県になった。主なロケ地は飯豊町、川西町。

江戸中期、飢えた村で若い世代を救うために自ら山に入り最後まで命を燃やそうとする老人たちの生きざまを描きたい。監督の意気込みは名だたる俳優たちを動かし、主演は市原悦子、他に石橋蓮司、李麗仙、中原ひとみ、樋口慶子、左右田一平等日本映画の錚々たるベテラン陣に加えて新人清水美奈、ほか約50人の映画制作スタッフが、2002年真冬の初ロケから春夏秋冬一年を通して、よくも山形の山村に通ってくれた。そして私たち山形の間もいつしか絆（ほど）され、山形から映画を作り出す夢を貪り楽しんだ。

金がなければ作れないじゃないかと、公的補助金・負担金、そして完成するかも分からない映画の製作協力券の事前販売を重ね、山形県側で揃えた資金は約9千万円。クレイジーだったね。映画熱。地元の人たちの必死の金策を知る俳優やスタッフたちが何度も開かれる地元人との交流パーティに必ず出席してくれたのは、高度なプロ意識。あの時流れていた今まさに映画と一緒に作っているという感覚は、あながち錯覚ではなかったと今も思う。

すみませんが、突然、ここからデスマス調になります。今年1月12日、市原さんが亡くなりました。残念です。本当にお世話になりました。次の世界でも大好きな朗読を楽しんでください。自然の中での撮影は番狂わせと修正と待ちの連続。まさに監督・俳優・スタッフたちの真剣勝負の場でした。その

高橋卓也

中でもいつも市原さんは茶目っ気があって、しなやかだった。恩地監督が厳父なら市原さんは現場の母親だと感じました。ケロッとしてバランスを取る市原さん。だから、この人たちのためにも絶対に地元で資金を集めて必ずこの映画を作るんだと心に誓ったものです。

市原さん、蕨野行で一緒にできて、なんと嬉しかったことか。厳しくも優しく愛嬌があってもものすごく素敵だった。良くしていただきました。勉強にもなりました。一生ものの経験をさせていただきました。ありがとうございます。今、映画祭の仕事をしながらも映画作りにチャレンジできているのは、あの「蕨野行」を一緒に作ることができたからです。市原さん、本当にありがとうございます。今後も、精進して参ります。ゆっくり、おやすみください。

高橋卓也（たかはしたくや）

山形市在住。山形国際ドキュメンタリー映画祭理事／プロジェクトマネージャー。フォーラム山形、映画センターを経て山形国際ドキュメンタリー映画祭に関わり、30年以上映画で飯を食う。「蕨野行」に関わった後、映画製作は「よみがえりのレシピ」「無音の叫び声」「世界と言われた映画館」でプロデューサー。



子どもの読書週間 ドは読書のド〜♪

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか……。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「子どもの読書週間」です。

川西町立図書館でもこの期間に合わせて、児童向けのイベントを行います。

「としょかんクエスト」
としょかんや本に関するクイズを出題

「ほんのおたのしみぶくろ」
テーマ別に本が3冊入ったおたのしみ袋を貸出

子どもの読書週間が はじまるよ！
たのしい おはなしを たくさん よもう☆

日にち：4月23日（火）～ 5月12日（日）
ばしょ：1かい じどうしょコーナー
～ イベントないよう ～

1 ほんのおたのしみぶくろ
ほんが 3冊ついった おたのしみぶくろを かしたしるよ
どんな おはなしかは よんでみての おたのしみ
● おはなしのだからばこは 15こ げんてい
● かりられるのは 1人1つ までだよ

2 としょかんクエスト
としょかんを めぐって 3ものクイズに こたえよう
ぜんもん せいかいすると プレゼントが もらえるよ
● クイズは 1人1かい まで

【川西町立図書館：(0238) 46-3311】